

# 自然的要素と児童教育

家庭學校長 留岡幸助

児童を教育する上に於て、最も大切に思はれるものは、児童の住む環境であります。私が現在致してゐる事業が、不良少年少女に接する事が多い經驗から、尙更児童の環境が如何に大なる影響があるか、切に感ぜられるのでありませう。

この家庭學校が西巢鴨の一角に設立されましたのは、今より二十三年前でありまして、其當時は此邊は實に田舎でありまして、私が草わけをしたと云ふ程でありました。それに唯今はどうでありませう、西巢鴨は八千戸も有する町となり、一坪九十何錢かで私共が買った土地は一坪五拾圓となりました。この都會的になりつゝあることが、即ち自然より次第に遠ざかりつゝある事が、不良少年少女の住居としてはまことに不適當なのであります。早晚この家庭學校はもつと田舎に移轉しなければならぬと思つて居ります。

幸ひにも今より八年前に、北海道の社名淵サナナチに一千

五十町歩餘の土地を得まして、此處に家庭學校の分校を創立致して居ります。

社名淵は、一里程離れた所に六百戸程ある町があるほか、純然たる山野でありまして、谷が九つあり、大樹に覆はれた山々が高く聳えて居ります。

六番目の谷を惠之谷と名づけ、この入口から三十町歩程の奥に平和山と云ふ山があります。其の平和山の麓に百町歩程の牧場がありまして、この山から十町隔つた所に惠之岡があり、檜の木が繁茂してゐます。

又惠之谷の中には望之岡と云ふのもあつて、其の頂上にはクローバーを植えつけ、其處に禮拜堂を建築してあります。岡の麓には十軒ほどのカテーヂを建て、十二人を一族として夫婦者の下に家庭的教育をさせるやうにし度いと思つて居ります。其の附近には、十二町歩ほどの畑がありまして、年中食物とするものは其處を耕して收穫するやうにして

あります。

兒童の教育上に於ては、普通の智育をするほかに、基督教を以て精神上的の教育をなし、農作する事を以て體育の助けとして居ります。北海道の社名淵の家庭學校の生活は未だ設備が充分でありませんが、兒童の住む環境としては理想的なものと思ひます。

さてこの意見から推してゆけば、都會に學校を建築するのは全然間違つた考へとなりませう。都會には、都會の兒童をわざ／＼田舎へ送つて教育する事の出來ない人々の爲に學校も相當に必要でありませうが、現在のやうに總ての教育機關を都會にばかり集中させるのは實に愚かな事でありませう。

私は都會に全然學校を設立しないと云ふわけには行きませぬから、せめても都會の學校には、殊に幼稚園、小學校等の幼き兒童を學ばせる所には、自然の要素を出來得る限り含ませたいと思ひます。庭をひろくして樹木を多く植ゑ、養鶏の類や花壇の手入等を大いに奨励してやらなければなりません。

私の駄作ですが、「人よりは牛がよくする子供かな」といふ俳句をやりました。これは北海道の社名淵の家庭學校を訪問しにゆくたびに、心から感ずる實感

を一寸歌つて見たのであります。其處には牧場の中に多くの牛が飼つてあります。牛は御存じの通りごく柔和なゆるやかな女性的のものでありまして、牛の子が生れました時に親牛から離して牛乳を與へて飼ひ馴らすと、小さい子供にもよくなづくもので、子供は牛を飼ふのが好きなものであります。殊に家庭學校に居るやうな氣の荒立つ子供等は、馬のやうな男性的な動物に接しさせると、馬がひん／＼嘶くと、直ぐ「こん畜生め」と打つ、馬が地面をけると、また直ぐ「こん畜生め」と打ちます。かうすると其の度に子供の氣をあらだゝせるのです。所が牛に接してゐると、靜かにおとなしくなります。その様子を見て、「人よりは牛がよくする子供かな」と歌つて見たのです。

一體、子供は大人よりも自然に接し易いものであります。子供が砂があれば直ぐ砂いぢりする、草原に行けば坐つたりねころんだりする、水があればじやぶ／＼這入りたがるものであります。私の幼い時の事を思ひ出しますが、家の近所に川がありましたのでよくはいりに行きました。母親は危ないからとて非常に心配してゐるのに、かくれて川へ遊びに

行つたものでした。この事でも、いかに子供が自然に接したがるかわかるのであります。

北海道の家庭學校に於きましても、はじめ東京邊から連れてゆく時は、北海道と云ふと非常におそろしい所のやうに思つて、子供はいやがりまますから、私共も注意して汽車にのせ、船にのせて送つてゆきます。所が不良少年とか不良少女とか云はれた其等の子供が、六ヶ月も其處にとゞまつてゐますと、すつかり精神も善良になり、身體も健康を増して來て、「悪い事をする」と東京にやつてしまふから、といふ程に、この社名淵の土地に愛著をもつのであります。之は何の爲めでありませうか、自然が人間をひきつけてゐるからで、全く自然の力は偉大なものであります。子供ばかりでなく、其處の先生方も東京に居るよりは遙かに幸福だと云つて、生を樂しんで居られます。

自然が人間に及ぼす影響は實に偉大なものであります。兒童を教育するには、教育の方法も大切でありませうし、學校の建物も大切でありませう、けれども自然の要素を教育にとり入れる事は、最も根本的で、最も効果の大なるものであります。

## ○全國保育者大會趣意書

兒童教育の完全は保育の完全に待つのであります。然るに我國現時の狀況を見るに保育事業は殆ど等閑に附せられて居るのみか寧ろ虐待を受けつゝある有様であります。

本會はこゝに見る所がありまして左記の要項により保育者大會を開き保育に對する世人の覺醒を促し其の改良進歩を期して居ます幼稚園主は勿論保母の方々の御入會を希望致します

日時 十一月二十五、二十六、二十七日の三日間

場所 帝國教育會講堂

一會費 金參圓

一講演見學等に關しては考慮中であります

一入會せんとするものは會費を添て來十一月十五日迄に住所職氏名を記し帝國教育會に申込み下さること

全國保育者大會問題

一、幼稚園教育會及其の施行規則を制定せられんことを建議すること

二、幼稚園の保母の養成の程度及其の資格待遇を高むることを當局に建議すること

三、幼稚園教育の普及を圖るに最も適當なる方法如何

四、幼稚園教育の改良を圖るに最も適當なる方法如何

以上 主催 帝國教育會

神田區一ツ橋通り町二十一

電 九 段 三 四 五

大正十年十一月